

滋賀県道路整備アクションプログラムの見直しについて

道路整備アクションプログラムの見直しについては、これまで土木事務所、支所ごとの県下8地域で4回に渡り開催した「地域ワーキング」において、地域の課題や、その課題を踏まえた道路整備への意見を広く伺いながら検討を進めてきました。

昨年12月のワーキングでの検討終了以降、次期アクションプログラムに掲載する具体の事業箇所と実施時期の位置づけについて検討や調整を行い、このたび新たな道路整備計画「アクションプログラム2018」を策定しましたので、ご報告します。

1. アクションプログラム見直しの背景と構成

前回の見直し以降5年が経過し、本県も人口減少局面を迎えることとなり、都市部の渋滞対策はもとより、人口減少地域などの状況・課題に応じた道路事業の展開が求められています。また、交通弱者の安全対策、道路施設の老朽化対策、災害に備えた道路ネットワークの強靱化、滋賀県の新たな魅力発信のツール「ピワイチ」を支える自転車走行環境整備など、様々なニーズへの対応が必要となってきています。

こうした社会経済情勢の変化を背景に見直したアクションプログラム2018では、改築事業・交通安全事業についての整備計画を策定しました。また、その他の事業として、法律や他の計画に基づいて計画的に実施する「道路施設の維持管理」や「自転車走行環境整備」(ピワイチ)についても記載しています。

2. 道路整備アクションプログラム2018の概要(改築事業・交通安全事業)

改築事業・交通安全事業の見直しにあたっては、事業の重点化を進め、より効果的・効率的な計画となるよう努めるとともに、地域ワーキングなどの取り組みを通じて、地域の声を反映させたプログラムとなるよう工夫を行いました。

今後、このアクションプログラム2018に基づいて着実な道路整備を推進し、地域の課題解消に努めてまいります。

改築事業・交通安全事業 アクションプログラム2018

対象規模：改築事業 (全体事業費5億円以上)
交通安全事業 (全体事業費1億円以上)
期 間：2018年度～2027年度(10年間)
箇所数：202箇所

事業種別		計	継続	箇所数		事業化 検討箇所
				前期(2018～2022) 着手	完了	
道路事業	改築事業	99	55	17	(3) 18	27
	交通安全事業	75	24	25	12	26
	歩道整備	14	3	4	3	7
街路事業		14	4	3	3	7
合 計		202	86	49	(3) 36	67

※完了の()内は、うち部分完了を示す

※街路事業は都市計画法の認可を得て実施されるもので、改築事業や交通安全事業を含む

滋賀県道路整備アクションプログラム 2018

アクションプログラム2018の概要

道路整備アクションプログラム2018は、滋賀県における道路整備の基本方針である「道路整備マスタープラン」に基づき策定した、将来10年間(2018年度～2027年度)の具体的な道路整備計画です。

近年、本県でも本格的な人口減少局面を迎えることとなり、生産力の低下、地域の過疎化の進展などの課題が懸念される中、道路整備の面でも県の基本構想、および国土交通省の施策などを踏まえながら、地域の実情に応じた道路整備を進めていく必要があります。

こうした社会経済情勢の変化を背景に、改築事業・交通安全事業の見直しを行いました。見直しにあたっては事業の重点化を進め、より効果的・効率的な計画となるよう努めるとともに、県下8地域で行った地域ワーキングなどの取り組みを通じて、地域の声を反映させたプログラムとなるよう工夫を行っています。

また、その他の事業として法律や他の計画に基づいて計画的に実施する「道路施設の維持管理」や「自転車走行環境整備」(ピワイチ)についても記載しています。

今後、このアクションプログラム2018に基づいて着実な道路整備を推進し、地域の課題解消に努めてまいります。



アクションプログラム2018の主な事業(改築事業・交通安全事業)

期間：2018年度～2027年度(10年間)

アクションプログラム2018		アクションプログラム2013
道路事業	改築事業	99 (箇所)
	交通安全事業	114 (箇所)
	歩道整備	75 (箇所)
	交差点改良	75 (箇所)
街路事業		14 (箇所)
箇所数: 202(箇所)		215 (箇所)

大津土木事務所管内

道路事業
(改築)

宇治田原大石東線(龍門(新名神SIC)工区)

●新名神高速道路(大津～龍門)の供用に合わせたスマートインターチェンジの整備



南部土木事務所管内

道路事業
(改築)

大津能登川長浜線(栗東・草津工区)

●都市計画道路(山手幹線)の整備(高架形式)
国道1号バイパス(栗東水口道路1)と連携し、まちづくりの根幹となる道路ネットワークを構築し、渋滞を緩和



甲賀土木事務所管内

道路事業
(改築)

国道307号(長野バイパス工区)

●新名神高速道路 信濃ICへのアクセス改善と市街地の渋滞解消



東近江土木事務所管内

道路事業
(改築)

国道421号(佐目工区)

●大型車のすれ違いが困難な主要幹線道路の拡幅を推進



湖東土木事務所管内

街路事業
(改築)

(都)原松原線(原・古沢工区)

●国道306号のバイパス整備



長浜土木事務所管内

道路事業
(改築)

木之本長浜線(森・祇園工区)

●幅員が狭い区間および国道6号交差点の渋滞解消のための道路整備
●通学路であり、歩行者、自転車の安全確保



木之本支所管内

交通安全事業
(歩道整備)

川合千田線(千田工区)

●通学路の安全確保のため、踏切前後の歩道整備を実施



高島土木事務所管内

道路事業
(改築)

五番領安井川線(安曇川工区)

●JR安曇川駅へのアクセス道路
●幅員狭小で老朽化した橋梁の架け替えの実施



アクションプログラム見直しの経緯

「滋賀県道路整備アクションプログラム」は、平成15年度に最初の計画を策定しました。

以降は、社会経済情勢の変化や新たな政策課題に係る変更要素が生じた場合には適宜、最長でも5年度には見直すこととして、これまで、アクションプログラム2008、2013と2度の見直しを行ってきました。今回が3回目の見直しとなります。



アクションプログラム見直しの背景

県内の道路をとりまく情勢の変化(平成25年度～平成29年度)

これまで増加が続いていた本県の人口も減少局面を迎え、地域の状況・課題に応じた事業展開を図ることが必要です。また、全国的に大規模な災害が頻発に発生している中で、災害に備えた道路ネットワークの強靱化が求められています。

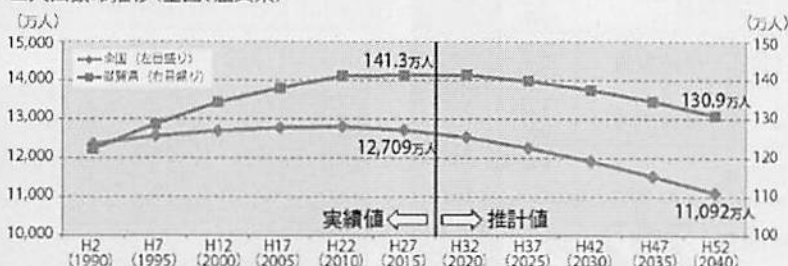
人口減少を見据えた県土整備

滋賀県の総人口は、2040年には130.9万人に減少することが予測されています。

市町や地域によって異なりますが、地域の状況・課題に応じた事業展開を図ることが必要です。

当面、人口増加が続く地域	人口減少が進行する地域
駅周辺など中心市街地	農山村集落や中山間地域
①渋滞対策(交差点改良) 交通安全対策など	②災害などへの備え (災害対策) 計画的な維持管理など

■人口数の推移(全国、滋賀県)



日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)より作成

幹線道路網の整備が進展

県内ではこの5年間に3箇所のスマートインターチェンジが開通し、国道1号などの整備が進みました。さらに今後予定される新名神高速道路の全線開通により、県内外の交流・連携の強化が期待されています。



災害に備えた道路ネットワークの強靱化

近年の気候変動に伴い、災害が頻発・激甚化する中、本県においても平成29年8月の台風5号、および10月の台風21号による大雨により、県内各地で通行止めが発生しました。

災害を防ぐ道路整備と共に、被災しても他の道路で速やかに代替の路線が確保できるように、災害に備えた道路ネットワークの強靱化が求められています。



平成29年10月台風21号による国道367号(坂根地区)の被災状況

アクションプログラム策定の流れ

滋賀県道路整備アクションプログラムの見直し・策定については以下のように検討を進めました。

将来20年間の
道路整備の
基本方針

滋賀県道路整備マスタープラン(第2次)

(平成23年度策定)

滋賀県基本構想の達成に向け『4つの政策目標』を掲げて道路整備を実施

県内産業の
活性化と
地域文化の交流

- ①産業活動を支援する道路整備
- ②産業と研究機関の連携を図る道路整備
- ③地域振興を支援する道路整備
- ④地域文化の交流を促進する広域ネットワークの整備

誰もが安心・安全に
暮らせる優しい
県土の実現

- ①交通事故の抑制
- ②誰もが利用しやすく、人に優しい道路整備
- ③異常気象時や災害時における信頼性の高い道路整備

環境負荷の軽減と
個性と潤いのある
生活空間の創造

- ①地球環境に対する負荷の軽減
- ②沿道環境の改善と新しい道路環境の創出
- ③新しい時代に対応した道路空間の創出
- ④地域特性を生かした道路空間の整備

地域の自立的発展と
不安のない
暮らしの創出

- ①地域の一体性の保持等、合併した市町を支援する道路整備
- ②救急医療や福祉活動を支える道路整備

〔政策目標を実現する道路ネットワークの形成〕

- ①地域間を連絡する環状道路網の形成
- ②県外との交流を促進する放射状道路の整備
- ③地域内での利便を高める幹線道路や生活道路の整備
- ④公共交通機関と連携した総合的な交通システムへの支援
- ⑤人や自転車を主体としたネットワークの形成

〔政策目標の実現への3つの取り組み〕

- ①効果が実感できる道づくり
- ②わかりやすく、愛着の持てる道づくり
- ③自然環境や生活環境に配慮した道づくり

❖地域ワーキング

土木事務所・支所ごとに
8地域で4回開催。

県民
アンケート
市町
からの
意見

内容

- ◇地域課題の抽出や、その課題を踏まえた今後の道路整備に向けて、広い意見を伺う
- ◇客観的評価マニュアルにおける地域特性の評価に必要な「地域の重点項目」を選定
- ◇今後の道路整備についての「地域の声」※とまとめ

※地域ワーキングで伺った意見を基にまとめた地域課題やその課題を踏まえた今後の道路整備についての意見

委員

有識者、公募委員、道路利用者、市町職員等

地域ワーキング	主なワーキングの内容
第1回 地域ワーキング 平成29年8月	地域の道路や交通の問題点、課題について意見を伺う
第2回 地域ワーキング 平成29年9～10月	地域の重点項目について、意見を伺う
第3回 地域ワーキング 平成29年10～11月	地域ワーキングでの「地域の声」(案)について意見を伺う
第4回 地域ワーキング 平成29年12月	新たなアクションプログラムの掲載箇所(案)について意見を伺う

❖客観的評価マニュアル(平成29年度一部改訂)

改築事業

バイパス整備や現道拡幅、街路事業など

交通安全事業(交差点改良)

右折レーンの延長や新設、交差点改良など

▽▽ 5項目で評価 ▽▽

1.必要性

2.走行改善効果

3.進捗状況

4.事業熟度

5.地域特性

地域の重点項目

交通安全事業(歩道整備)

自転車歩行者道や歩道の新設・改良

▽▽ 5項目で評価 ▽▽

1.計画の位置づけ

2.道路利用状況等

3.必要性

4.進捗状況

5.事業熟度

将来10年間の道路整備計画

滋賀県道路整備アクションプログラム

厳しい財政状況の中、「選択と集中」による重点化を図り、地域に真に必要な道路を優先して整備

その他の事業 (道路施設の維持管理、自転車走行環境整備(ビワイチ))

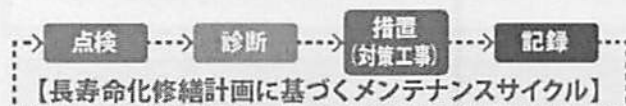
道路施設の維持管理



高度経済成長期や琵琶湖総合開発事業により、昭和30年代後半から50年代にかけて集中的に道路施設を整備してきた本県では、今後急速な老朽化が見込まれることから、維持管理にかかる費用を縮減・平準化する必要があります。

平成26年度の道路法施行規則改正により、橋梁やトンネルなどの重要構造物について、5年に1度の施設点検が義務付けられ、点検に基づく修繕事業とあわせたメンテナンスサイクルを計画的・持続的にまわすことで、効率的な維持管理の取組みを進めているところです。

平成30年度には施設点検の一巡目が終了することから、次はそのデータを生かし戦略的・効率的な修繕等を推進する「メンテナンスのセカンドステージ」に入ります。



点検等の状況



橋梁



トンネル

【建設から50年が経過した橋梁の割合】

平成29年度 847橋 (35%)
(2017)

2037年度 1,787橋 (74%)

構造物の高齢化



平成29年時点で、滋賀県において2m以上の橋梁は2,406橋(架橋年次不明橋除く)あり、その中で、既に50年以上経過した高齢化橋梁は847橋(35%)。20年後には、1,787橋(74%)と急速に進行します。

自転車走行環境整備(ビワイチ)



びわ湖を自転車で周回する「ビワイチ」人気の高まりから、湖岸をサイクリングで楽しむ観光客は年々増えており、誰もが安全にサイクリングできる道路環境の整備が求められています。



こうした中、ドライバーに自転車の存在を知らせる路面表示や植樹スペースを活用した自転車走行空間のモデル整備など、県観光交流局が策定する「ビワイチ推進総合ビジョン(平成30年策定)」に基づき、安全・安心を高める取り組みを着実に推進していきます。



■矢羽根型路面表示

自転車の走行場所を確保しつつドライバーへの注意喚起を促すことができ、ビワイチ初心者でも青矢羽根をたどれば、迷わずに走ることができます。



■自転車走行空間の確保

限られた道路空間において、多くのサイクリストと歩行者や自動車とが安全に道路を共有できるモデル整備に取り組みます。

滋賀県道路整備アクションプログラム2018

各土木事務所・支所別 事業一覧表・位置図

大津・・・・・・・・・・P1

南部・・・・・・・・・・P5

甲賀・・・・・・・・・・P9

東近江・・・・・・・・・・P13

湖東・・・・・・・・・・P17

長浜・・・・・・・・・・P21

木之本・・・・・・・・・・P25

高島・・・・・・・・・・P29

・事業番号は事業種別ごとに付しています。

道路整備アクションプログラム2018【大津土木事務所】

道路事業：改築事業

— 〇〇 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		
				前期 2018～2022	後期 2023～2027	※事業化 検討路線
①	国道422号	大石東バイパス	●	●	●	
②	大津能登川長浜線	唐橋		●		
③	大津南郷宇治線	外畑	●	●	●	
④	栗東信楽線	大鳥居				●
⑤	大津信楽線	平野黄瀬	●	●	●	
⑥	大津信楽線	堂				●
⑦	平野草津線	平野				●
⑧	伊香立浜大津線	下在地生津	●	●	●	
⑨	伊香立浜大津線	平尾	●			
⑩	伊香立浜大津線	千野坂本	●			
⑪	南郷桐生草津線	里	●			
⑫	南郷桐生草津線	中野		●		
⑬	宇治田原大石東線	龍門(新名神SIC)	●			

街路事業

— 〇〇 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		
				前期 2018～2022	後期 2023～2027	※事業化 検討路線
①	(都)比叡辻日吉線 (比叡山線)	下阪本		●		
②	(都)浜街道大江線 (大津守山近江八幡線)	大萱				●
③	(都)本堅田衣川線 (仰木本堅田線)	本堅田	●	●	●	

道路事業：交通安全事業(歩道整備)

— 〇〇 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		
				前期 2018～2022	後期 2023～2027	※事業化 検討路線
①	国道422号	南郷5丁目		●		
②	国道477号	伊香立途中				●
③	平野草津線	平野		●		
④	千町石山寺辺線	千町	●	●	●	

参考掲載

国事業・高速道路会社事業

— 〇〇 —

整理番号	路線名	工区名
①	国道1号	大江地区歩道整備事業
②	国道1号	竜が丘電線共同溝
③	国道1号	本宮電線共同溝
④	国道161号	小松拡幅
⑤	国道161号	湖西道路(真野～坂本北)
⑥	近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)	

市事業

— 〇〇 —

整理番号	市町名	路線名	工区名	継続	2018～2027		
					前期 2018～2022	後期 2023～2027	※事業化 検討路線
①	大津市	市道幹1009号線 (都)本堅田真野線		●			
②		市道北6017号線		●	●		
③		市道幹2028号線		●			
④		市道幹1033号線 (都)馬場皇子が丘線		●	●		
⑤		県道比叡山線 (都)比叡辻日吉線		●			
⑥		(都)浜街道大江線					●
⑦		市道幹1016号線 (都)本堅田衣川線			●		

道路公社事業

— 〇〇 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		
				前期 2018～2022	後期 2023～2027	※事業化 検討路線
①	国道477号	真野		●		

※事業化検討路線：予算の確保状況、他事業の進捗状況および地元との協議調整状況等により事業化を検討していく路線

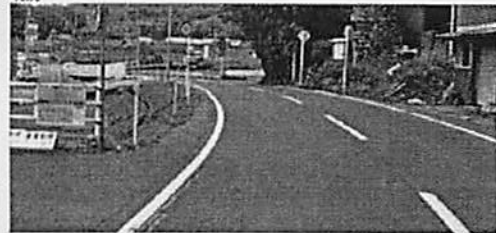
大津土木事務所 道路整備アクションプログラム箇所図

アクションプログラム2018		アクションプログラム2013
道路事業	改築事業	13 (箇所)
	交通安全事業	4 (箇所)
	歩道整備	4 (箇所)
街路事業	交差点改良	1 (箇所)
	交差点改良	1 (箇所)
箇所数: 20 (箇所)		19 (箇所)

④ 千町石山寺辺線 (千町)

- 歩道未整備区間の解消を図り、歩行者の安全を確保

現況



現在の進捗状況



「地域の声」との関連

- 誰もが安全に移動できる交通環境の創出
- すべての人が歩きやすい歩行空間の確保および維持管理

① 国道422号 (大石東バイパス)

- 線形不良区間および狭い箇所をバイパス整備にて改善
- 南部地域の主要南北軸として道路ネットワークを形成

現況



現在の進捗状況



「地域の声」との関連

- 渋滞緩和に加え防災対策も考慮した道路機能の強化
- 誰もが安全に移動できる交通環境の創出
- 地域のポテンシャルを活かすことができる道づくり

⑬ 宇治田原大石東線 (龍門 (新名神SIC))

- 新名神高速道路 (大津～城陽) の供用に合わせたスマートインターチェンジの整備

整備イメージ



「地域の声」との関連

- 渋滞緩和に加え防災対策も考慮した道路機能の強化
- 誰もが安全に移動できる交通環境の創出
- 地域のポテンシャルを活かすことができる道づくり

凡 例

道路事業

- 改築事業 — (00)
- 交通安全事業 — (00)
- 歩道整備 — (00)

街路事業

- (00)

国事業・

- 高速道路会社事業 — (00)

道路公社事業

- (00)

市事業

- (00)

- 高速・有料道路
- 新名神計画
- 国道
- 主要地方道・一般県道
- J R 在来線
- J R 新幹線
- その他の私鉄線
- 境界
- 市界
- 県界
- 市役所
- インターチェンジ



⑧ 伊香立浜大津線（下在地生津）

- 通学経路における歩道未整備区間の解消
- 線形不良区間および狭い区間をバイパス整備にて改善

現況



「地域の声」との関連

- 誰もが安全に移動できる交通環境の創出
- すべての人が歩きやすい歩行空間の確保および維持管理
- 地域のポテンシャルを活かすことができる道づくり

② 大津能登川長浜線（唐橋）

- 交差点改良を行い、恒常的に発生する渋滞を緩和
- 渋滞を起因とする交通事故の低減を図る

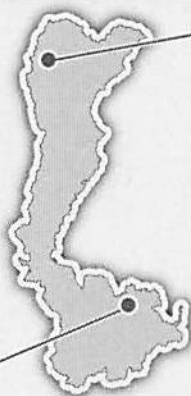
現況



「地域の声」との関連

- 渋滞緩和に加え防災対策も考慮した道路機能の強化
- 誰もが安全に移動できる交通環境の創出
- 地域のポテンシャルを活かすことができる道づくり

アクションプログラム 2013 完了箇所 代表事例



❖ 国道367号（梅ノ木）

- 狭い区間を拡幅整備にて改善
- 積雪寒冷地域及び豪雪地帯である区間の安全を確保

整備前の状況



整備後の状況



❖ 大津信楽線（平野）

- 狭い区間をバイパス整備にて改善
- 主要幹線における雨量規制区間の整備促進

旧道の状況



バイパスの整備状況



地域の声

大津地域は、首都圏・中京圏と近畿圏を結ぶ動線上に位置し、北陸圏への分岐点としても交通の要衝にあり、県内唯一の中核市として発展してきました。

近年では、平成25年度に近江大橋が無料化され、地域内における移動利便性がさらに向上しており、また、国道161号湖西道路の4車線化も着工するなど、着実に交通環境の改善が進められています。

しかしながら、頻発する自然災害による通行止め等により、集落の孤立化、市民生活や社会経済活動への影響等、災害への備えや防災対策は未だ十分ではなく、道路の信頼性・防災性の向上が求められています。また、交通集中による渋滞は厳しいものがあり、高齢化社会の進展や環境への配慮の重要性をふまえると、自動車だけでなく、公共交通や自転車といった、交通環境や自転車を軸とした生活の利便性向上につながる交通環境の確保が求められています。

アクションプログラムの見直しにあたり、平成29年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の4項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

1. 渋滞緩和に加え防災対策も考慮した道路機能の強化

交通集中により生じている幹線道路の渋滞を緩和するため、道路の拡幅やバイパス整備を通じて交通処理能力を強化することが求められます。併せて、幅の広い道路を確保することで、火災や建物倒壊時における被害を最小限に食い止めることができる道路機能の強化も必要です。

2. 誰もが安全に移動できる交通環境の創出

事故が多発している危険な箇所に対しては、交通事故の発生要因を踏まえた対応が必要です。併せて、児童や生徒の通学時における経路上で危険が潜んでいる箇所に対しても、安全対策が必要です。

3. すべての人が歩きやすい歩行空間の確保および維持管理

高齢化の進展に伴い増加する高齢者や交通弱者をはじめ、まちを歩いて移動するすべての人が安全・安心に移動できる、歩きやすい歩行空間の確保と維持管理が必要です。

4. 地域のポテンシャルを活かすことができる道づくり

環境に優しい公共交通の利活用促進やビワイチの推進など、地域の取り組み支援につながる道づくりが必要です。

道路整備アクションプログラム2018【南部土木事務所】

道路事業：改築事業

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		※事業化
				前期 2018～2022 着手	完了	
①	国道477号	幸津川・洲本	●	●		
②	大津能登川長浜線	栗東	●			
③	大津能登川長浜線	草津	●			
④	栗東信楽線	林・六地藏	●			
⑤	近江八幡守山線	木部	●			
⑥	近江八幡守山線	比江・川田	●			
⑦	近江八幡守山線	比留田				●
⑧	川辺御園線	目川・上砥山		●		
⑨	木部野洲線	久野部		●		
⑩	安養寺入町線	入町	●	●		
⑪	今浜水保線	今浜(地球市民の森)				●
⑫	菟蒲線	菟蒲				●

道路事業：交通安全事業(交差点改良)

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		※事業化
				前期 2018～2022 着手	完了	
①	大津能登川長浜線	草津三丁目	●	●		
②	大津草津線	矢橋中央交差点				●
③	下笠大路井線	野村		●	●	

道路事業：交通安全事業(歩道整備)

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		※事業化
				前期 2018～2022 着手	完了	
①	大津能登川長浜線	焔魔堂・吉身		●	●	
②	大津能登川長浜線	若草		●		
③	大津草津線	野路	●			
④	大津守山近江八幡線	北大萱				●
⑤	野洲甲西線	三上				●
⑥	近江八幡守山線	高木	●	●		
⑦	片岡栗東線	焔魔堂・大門				●
⑧	赤野井守山線	下之郷・吉身	●	●		
⑨	赤野井守山線	赤野井・石田	●	●		
⑩	赤野井守山線	赤野井		●		
⑪	野洲停車場線	小篠原	●	●		
⑫	守山中主線	市三宅		●		
⑬	幸津川服部線	稲荷大橋	●			

街路事業

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		※事業化
				前期 2018～2022 着手	完了	
①	(都)下笠下砥山線 (大津能登川長浜線)	小柿・目川				●
②	(都)片岡栗東線 (片岡栗東線)	宅屋・千代	●	●		
③	(都)片岡栗東線 (片岡栗東線)	千代・勝部		●		
④	(都)草津駅新屋敷町線 (草津停車場線)	国道大路上交点				●

参考掲載

国事業

— 00 —

整理番号	路線名	工区名
①	国道1号	栗東水口道路Ⅰ
②	国道1号	大路3丁目交差点改良事業
③	国道1号	小柿電線共同溝
④	国道1号	大路電線共同溝
⑤	国道8号	野洲栗東バイパス

市事業

— 00 —

整理番号	市町名	路線名	工区名	継続	2018～2027		※事業化
					前期 2018～2022 着手	完了	
①	草津市	(都)大江霊仙寺線	南笠	●	●		
②		(都)大江霊仙寺線	南笠(その2)	●	●		
③		(都)南大萱青地線	青地・青地・追分				●
④	守山市	(都)勝部吉身線	勝部・伊勢	●	●		
⑤		(都)大門野尻線	第2工区	●			
⑥		(都)大門野尻線	第3工区(緒)	●	●		
⑦	栗東市	(都)下鈎出庭線	蜂屋・出庭	●	●		
⑧		(都)出庭林線	出庭	●	●		
⑨		(都)蜂屋手原線	手原		●	●	
⑩		(都)青地新田坊袋線	坊袋		●		

道路公社事業

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		※事業化
				前期 2018～2022 着手	完了	
①	国道477号	水保		●		

※事業化検討路線：予算の確保状況、他事業の進捗状況および地元との協議調整状況等により事業化を検討していく路線

アクションプログラム2018		アクションプログラム2013
道路事業	改築事業	12 (箇所)
	交通安全事業	13 (箇所)
	歩道整備	13 (箇所)
街路事業	交差点改良	3 (箇所)
	交差点改良	2 (箇所)
箇所数: 32 (箇所)		35 (箇所)

南部土木事務所道路整備アクションプログラム箇所図

⑥ 近江八幡守山線 (比江・川田)

- 都市計画道路: 大津湖南幹線の整備
- まちづくりの根幹となる道路のネットワークを構築し、渋滞の緩和を目指します

現況



「地域の声」との関連

- 交通渋滞の緩和
- まちづくりの根幹となる道路ネットワークの構築
- 誰もが安全・安心して利用できる歩行者・自転車空間の確保
- 快適な道路環境創出に向けた維持管理



凡 例	
道路事業	高速・有料道路
改築事業	新名神計画道
交通安全事業	国道
歩道整備	主要地方道一般国道
交差点改良	JR在来線
	JR新幹線
	その他の私鉄線
街路事業	市道
国事業	県道
道路公社事業	市道
市事業	県道
	市役所
	インターチェンジ

② (都)片岡栗東線 (宅屋・千代)

- 都市計画道路: 片岡栗東線の整備【4車線】
- 国道8号バイパスと連携し、まちづくりの根幹となる道路ネットワークを構築し、渋滞の緩和を目指します



「地域の声」との関連

- 交通渋滞の緩和
- まちづくりの根幹となる道路ネットワークの構築
- 誰もが安全・安心して利用できる歩行者・自転車空間の確保
- 快適な道路環境創出に向けた維持管理

②③ 大津能登川長浜線 (栗東・草津)

- 都市計画道路: 山手幹線の整備【高架形式】
- 国道1号(栗東水口道路I)と連携し、まちづくりの根幹となる道路ネットワークの構築による渋滞の緩和を目指します

整備イメージ



「県道石部草津線からの完成予想図」

「地域の声」との関連

- 交通渋滞の緩和
- まちづくりの根幹となる道路ネットワークの構築
- 誰もが安全・安心して利用できる歩行者・自転車空間の確保
- 快適な道路環境創出に向けた維持管理

⑧ 赤野井守山線 (下之郷・吉身)

- 安全で快適な歩行者・自転車空間の確保を目指します

完了箇所写真



「地域の声」との関連

- 誰もが安全・安心して利用できる歩行者・自転車空間の確保
- 快適な道路環境創出に向けた維持管理

⑨ 木部野洲線 (久野部)

- 都市計画道路：小篠原三宅線の整備
- ボトルネック箇所の改善を図り、安全で快適な道路空間の確保を目指します

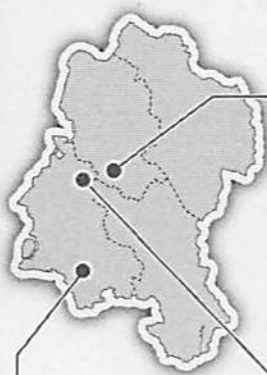
現況



「地域の声」との関連

- 交通渋滞の緩和
- まちづくりの根幹となる道路ネットワークの構築
- 誰もが安全・安心して利用できる歩行者・自転車空間の確保
- 快適な道路環境創出に向けた維持管理

アクションプログラム 2013 完了箇所 代表事例



- ❖草津守山線 (下之郷)
- ❖草津守山線 (金森)
- ❖(都)大津湖南幹線 (大門)

- 幹線道路の整備
- 近江大橋から琵琶湖大橋取付道路までの間が4車線化

整備後の状況



❖平野草津線 (野路)

- 主要渋滞箇所である交差点改良 (右折レーン設置) と併せた歩道の整備

整備前の状況



整備後の状況



❖栗東志那中線 (穴村・新堂)

- 現道拡幅および右折レーンの整備

整備後の状況



地域の声

南部地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)は、京阪神に隣接する地理的特性や交通の利便性等から現在も人口は増加傾向にあります。また、新たな商業施設や企業立地、住宅開発も活発であるとともに、大学や試験研究機関の集積が進む成長著しい地域となっています。

近年では、平成25年度に近江大橋が無料化され、その接続道路となる大津湖南幹線も平成27年度に琵琶湖大橋取付け道路まで4車線化されたほか、国道1号バイパス(栗東水口道路)も供用するなど、地域内の幹線道路ネットワークの強化が進められており、交通基盤が整った本地域が更なる発展を遂げることが期待されています。

その一方で、地域の発展に伴い、地域内の交通量は増加傾向にあり、交通渋滞とそれによる周辺環境の悪化が見られ、地域の経済活動の活性化や、快適な移動空間の確保など、道路整備に対する課題が顕在化しています。

アクションプログラムの見直しにあたり、平成29年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の4項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

1. 交通渋滞の緩和

本地域では、商業施設が立ち並ぶ幹線道路や国道1号、8号等の幹線道路との交差点において、多くの渋滞が発生しており、渋滞を避けた交通が生活道路に入り込むなど、危険な状況を招いています。

このため、渋滞緩和に向けた道路の拡幅や交通処理機能強化につながる交差点改良等の積極的な実施が求められます。

2. まちづくりの根幹となる道路ネットワークの構築

本地域は整備が進んだ南北軸と比較すると東西軸が弱く、特定の道路に交通が集中している状況が見られます。

このため、各道路管理者の連携のもと、まちづくりの根幹となる道路ネットワークを構築し、集中する交通の分散を図ることが必要です。

3. 誰もが安全・安心して利用できる歩行者・自転車空間の確保

本地域は人口が増加しており、増加する高齢者や児童、障害者など、まちを歩いて移動するすべての人に対して、安全・安心して移動できる、歩きやすい歩行空間確保が求められます。

また、昨今の自転車ブームにより自転車利用者が増加していることから、安全・快適な自転車空間の確保も求められています。

4. 快適な道路環境創出に向けた維持管理

街路樹からの落葉や歩道にはみ出した草や看板などは、道路利用者の通行の支障となり景観も損われるため、定期的な除草処理等が必要です。また、道路の舗装、橋梁、照明、区画線等の老朽化に備えて、計画的な維持管理を充実させていくことも必要です。

さらに、外国人や観光客などを含む、すべての人が快適かつ安全に道路を利用できるように、わかりやすい道路標識や路面標示の設置に取り組む必要があります。

道路整備アクションプログラム2018【甲賀土木事務所】

道路事業：改築事業

〇〇

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		
				前期 2018～2022	後期 2023～2027	事業化 検討
①	国道307号	長野バイパス	●			
②	草津伊賀線	吉永・三雲		●		
③	木津信楽線	杉山		●		
④	栗東信楽線	長野				●
⑤	竜王石部線	菩提寺・石部		●		
⑥	甲賀土山線	岩室				●
⑦	土山蒲生近江八幡線	頓宮				●
⑧	甲南阿山伊賀線	新治	●			
⑨	水口甲南線	稗谷・葛木	●			
⑩	杉谷嵯峨線	稗谷・深川	●			
⑪	岩室神線	大原上田				●
⑫	増田水口線	松尾				●
⑬	泉水口線	水口	●			
⑭	岩室北土山線	岩室	●		●	

道路事業：交通安全事業（歩道整備）

〇〇

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		
				前期 2018～2022	後期 2023～2027	事業化 検討
①	国道307号	新町・秋葉				●
②	草津伊賀線	野田・池田	●			
③	草津伊賀線	油日・五反田				●
④	草津伊賀線	三大寺				●
⑤	竜王石部線	菩提寺	●			
⑥	甲賀土山線	鳥居野・小佐治		●		
⑦	野洲甲西線	正福寺				●
⑧	甲南阿山伊賀線	杉谷				●
⑨	東湯舟甲賀線	高嶺・和田	●		●	
⑩	石部草津線	宝来坂		●		
⑪	石部停車場線	石部西・石部中央				●
⑫	小佐治甲南線	小佐治	●		●	
⑬	南土山甲賀線	神・鳥居野				●
⑭	上馬杉野尻線	柑子・野尻				●

道路事業：交通安全事業（交差点改良）

〇〇

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		
				前期 2018～2022	後期 2023～2027	事業化 検討
①	国道307号	虫生野				●
②	石部草津線	石部中央				●
③	水口竜王線	伴中山		●		
④	泉水口線	泉				●
⑤	山名坂線	山				●

参考掲載

国事業

〇〇

整理番号	路線名	工区名
①	国道1号	水口道路
②	国道1号	栗東水口道路Ⅰ
③	国道1号	栗東水口道路Ⅱ
④	国道307号	信楽道路

市事業

〇〇

整理番号	市町名	路線名	工区名	継続	2018～2027		
					前期 2018～2022	後期 2023～2027	事業化 検討
①	甲賀市	(都)甲南駅前線	深川	●			
②		新町・貴生川幹線	内貴橋	●			
③		(仮)虫生野希望ヶ丘線	虫生野		●		
④	湖南市	(仮)吉永山手線	吉永・夏見	●		●	
⑤		三雲駅南線	三雲	●		●	
⑥		甲西駅美松線	平松	●		●	

※ 事業化検討路線：予算の確保状況、他事業の進捗状況および地元との協議調整状況等により事業化を検討していく路線

アクションプログラム2018

アクション
プログラム
2018

道路事業	改築事業	14 (箇所)	15 (箇所)
	交通安全事業	14 (箇所)	14 (箇所)
	歩道整備	5 (箇所)	3 (箇所)
街路事業	交差点改良	—	1 (箇所)
箇所数: 33 (箇所)		33 (箇所)	

甲賀土木事務所道路整備アクションプログラム箇所図

⑤ 竜王石部線 (菩提寺・石部)

●JR石部駅、名神高速道路竜王ICへのアクセス改善

整備イメージ



「地域の声」との関連

- 広域交通ネットワークの整備
- 地域の問題を解決する道路整備
- 安全・安心、そして人に優しい道づくり
- 道路の役割に応じた道づくり

① 国道307号 (長野バイパス)

●新名神高速道路 信楽ICへのアクセス改善と市街地の渋滞解消

整備イメージ



現況



「地域の声」との関連

- 広域交通ネットワークの整備
- 地域の問題を解決する道路整備
- 安全・安心、そして人に優しい道づくり
- 道路の役割に応じた道づくり
- 災害に強い道づくり

⑫ 小佐治甲南線 (小佐治)

●通学路での歩道整備

現況



「地域の声」との関連

- 安全・安心、そして人に優しい道づくり

⑭ 岩室北土山線 (岩室)

●新名神高速道路 甲賀土山ICへのアクセス改善

現在の進捗状況



「地域の声」との関連

- 広域交通ネットワークの整備
- 地域の問題を解決する道路整備
- 安全・安心、そして人に優しい道づくり
- 道路の役割に応じた道づくり

凡 例

道路事業

改築事業 — (00)

交通安全事業 — (00)

歩道整備 — (00)

交差点改良 — (00)

国事業 — (00)

市町事業 — (00)

- 高速・有料道路
- 国道
- 主要地方道・一般県道
- JR在来線
- JR新幹線
- その他の私鉄線
- 市町境
- 県境
- 市役所
- 町役場
- インターチェンジ

⑤ 竜王石部線 (菩提寺)

- 通学路での歩道 現況
整備



「地域の声」との関連

- 安全・安心、そして人に優しい道づくり

③ 水口竜王線 (伴中山)

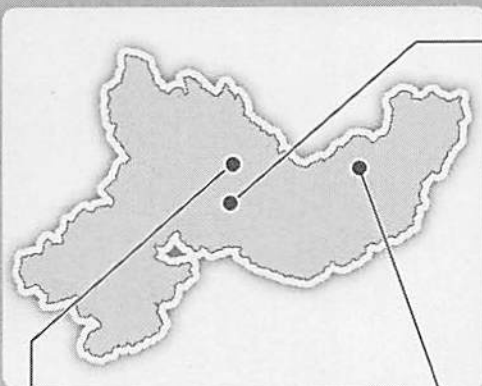
- 交通渋滞の解消と 現況
通学路の安全確保



「地域の声」との関連

- 地域の問題を解決する道路整備
- 安全・安心、そして人に優しい道づくり
- 道路の役割に応じた道づくり

アクションプログラム 2013 完了箇所 代表事例



❖ (都) 葛木竜法師線 (結幸高架橋)

- JR草津線の高架橋整備により狭い踏切によるすれ違い困難な交通を解消。旧水口町、旧甲南町、新名神高速道路甲南ICへのアクセス向上

旧道の状況



整備後の状況



❖ 水口甲南線 (水口橋)

- 市街地へのアクセス道路整備
- 道路幅員が狭い老朽化した橋梁の整備による渋滞の解消

整備後の状況



❖ 大河原北土山線 (青土)

- 通学路での歩道整備

整備後の状況



地域の声

甲賀地域(甲賀市・湖南市)は、東西方向に新名神高速道路、国道1号、国道422号等が、南北方向には国道307号、彦根八日市甲西線等の幹線道路が通過する交通の要衝です。また、近年では国道1号栗東水口道路や水口道路の供用(平成28年3月)などもあり、企業の進出に拍車がかかっています。

しかし、一方でインターチェンジ等へのアクセス道路では未整備区間が残っています。また、渋滞を避ける大型車等が生活道路や通学路へ流入するなどの状況があり、安全・安心な歩行空間の確保および大型車の良好な通行環境の整備が望まれています。

アクションプログラムの見直しにあたり、平成29年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の5項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

1. 広域交通ネットワークの整備

甲賀地域では新名神高速道路の開通や国道1号バイパスの供用により広域交通の利便性が向上していますが、地の利を活かしたさらなる企業誘致の促進や他地域との交流の拡大を図るため、インターチェンジへのアクセス道路、東西方向に比較して遅れている南北方向の幹線道路および鉄道駅へのアクセス道路の整備が望まれます。

2. 地域の問題を解決する道路整備

主要施設周辺の交通渋滞や通過交通の生活道路への進入、大型車両とのすれ違い時の危険性などの地域の問題を解決するため、インターチェンジ、鉄道駅、観光・福祉・医療施設へのアクセス道路や大型車の良好な通行環境の整備が望まれます。

3. 安全・安心、そして人に優しい道づくり

交通事故を減らす、無くすことをめざし、高齢者・子ども・障害のある方をはじめ、あらゆる人が安全・安心に利用できる道づくりが必要です。特に通学路や自転車通行の安全確保が望まれます。併せて、良好な道路環境を創出するためにも適正な維持管理が必要です。

4. 道路の役割に応じた道づくり

地域においては国道や県道、市道などがそれぞれの管理者により個別に整備されていますが、各道路管理者が相互に連携しながら道路の役割に応じた道路整備を進めることが必要です。

5. 災害に強い道づくり

近年、地震や大雨・大雪などによる自然災害が全国的に多発しています。災害の未然防止、早期復興に資するため災害に強い道づくりが必要です。

道路整備アクションプログラム2018【東近江土木事務所】

道路事業:改築事業

— (00) —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		※事業化 検討路線
				前期 2018~2022	後期 2023~2027	
①	国道307号	平柳		●		
②	国道421号	佐目萱尾	●			
③	国道421号	佐目	●			
④	国道477号	古川野村				●
⑤	大津能登川長浜線	安土・能登川	●			
⑥	彦根八日市甲西線	南菩提寺町・勝堂町				●
⑦	近江八幡竜王線	岩倉バイパス	●			
⑧	大津守山近江八幡線	中部湖東幹線		●		
⑨	土山蒲生近江八幡線	鎌掛				●
⑩	土山蒲生近江八幡線	羽田バイパス				●
⑪	栗見八日市線	垣見				●
⑫	下羽田市辺線	三津屋バイパス	●		(●)	
⑬	日野徳原線	内池バイパス	●		(●)	
⑭	佐生五個荘線	川並	●			
⑮	佐生五個荘線	五個荘金堂				●
⑯	雨降野今在家八日市線	中岸本		●		
⑰	五個荘八日市線	愛知川左岸堤	●			
⑱	中里山上日野線	外				●
⑲	栗見新田安土線	下豊浦				●
⑳	西明寺安部居線	佐久良	●			
㉑	伊庭円山線	白王	●		●	

道路事業:交通安全事業(歩道整備)

— (00) —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		※事業化 検討路線
				前期 2018~2022	後期 2023~2027	
①	国道307号	別所				●
②	国道421号	林田				●
③	国道477号	蒲生堂				●
④	国道477号	山之上		●		
⑤	国道477号	西横関				●
⑥	大津能登川長浜線	音羽		●		
⑦	大津能登川長浜線	西庄	●			
⑧	彦根八日市甲西線	中野		●		
⑨	湖東愛知川線	僧坊		●		
⑩	石原八日市線	今堀				●
⑪	栗見八日市線	建部日吉	●			
⑫	栗見八日市線	乙女浜		●		
⑬	小口川守線	小口		●		
⑭	小脇西生来線	内野		●		
⑮	八日市五個荘線	建部日吉		●		
⑯	外八日市線	中戸	●		●	
⑰	大房東横関線	若宮	●			
⑱	桜川西中在寺線	桜川西	●		●	

道路事業:交通安全事業(交差点改良)

— (00) —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		※事業化 検討路線
				前期 2018~2022	後期 2023~2027	
①	国道477号	小口				●
②	彦根八日市甲西線	山之上		●		
③	大津守山近江八幡線	多賀町		●		

街路事業

— (00) —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		※事業化 検討路線
				前期 2018~2022	後期 2023~2027	
①	(都)近江八幡能登川線 (大津能登川長浜線)	伊庭・山路	●		●	
②	(都)近江八幡能登川線 (大津能登川長浜線)	能登川		●		

参考掲載

国事業

— (00) —

整理番号	路線名	工区名
①	国道8号	築瀬・長野地区交差点改良

市町事業

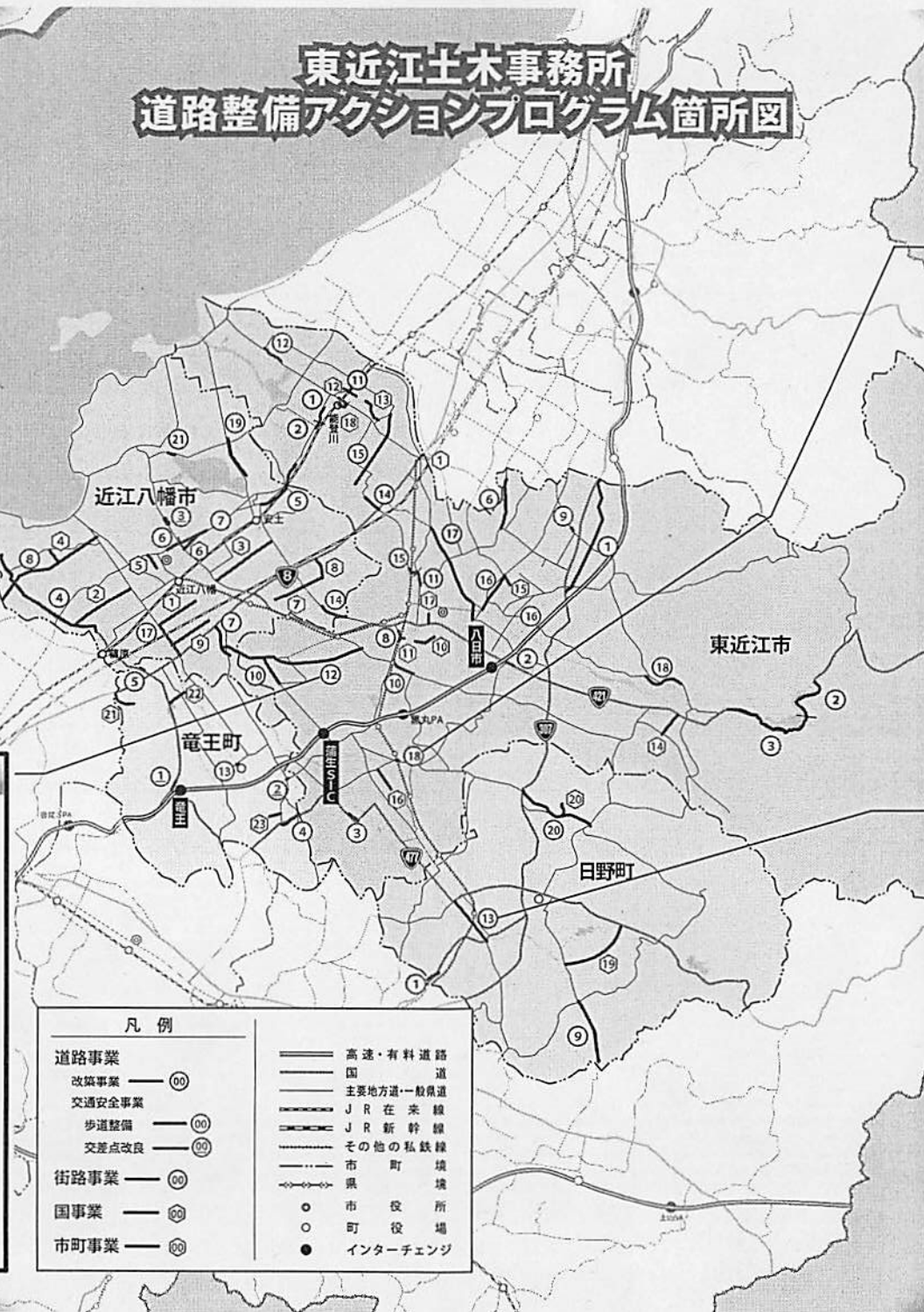
— (00) —

整理番号	市町名	路線名	工区名	継続	2018~2027		※事業化 検討路線
					前期 2018~2022	後期 2023~2027	
①	近江八幡市	若宮上田線		●			
②		八木古川線		●			
③		金剛寺中屋線		●			
④		牧元水基線			●		
⑤		西元土田線	土田		●		
⑥		黒橋八木線	黒橋		●		
⑦		武佐老蘇線	武佐西生来		●		
⑧		武佐老蘇線	西生来老蘇				●
⑨		馬淵上田線			●		
⑩		(都)小今建部上中線	聖徳	●		●	
⑪	東近江市	(都)上中線町小今線	今崎		●	●	
⑫		(都)中学校線	垣見	●		●	
⑬		能登川北部線	佐生		●	●	
⑭		山上上二俣線	山上	●		●	
⑮		小田苅愛東線	中岸本	●		●	
⑯		中学校大塚線	市子川原	●		●	
⑰		(都)尻無愛知川線	八日市金屋		●		
⑱		(都)JR東口線	本町		●		
⑲		西大路鎌掛線	西大路・鎌掛	●		●	
⑳		奥之池線	佐久良	●		●	
㉑	竜王町	山面鏡西線	山面・鏡		●	●	
㉒		西川ため池線	西川				●
㉓		殿山線	山之上	●			

※事業化検討路線:予算の確保状況、他事業の進捗状況および地元との協議調整状況等により事業化を検討していく路線
(●)は部分完成または暫定完成

東近江土木事務所 道路整備アクションプログラム箇所図

アクションプログラム2018		アクションプログラム2013	
道路事業	改築事業	21 (箇所)	22 (箇所)
	交通安全事業	18 (箇所)	18 (箇所)
	歩道整備	3 (箇所)	4 (箇所)
街路事業		2 (箇所)	2 (箇所)
箇所数: 44 (箇所)		46 (箇所)	



⑫ 下羽田市辺線 (三津屋バイパス)

- 地域の東西軸を担うバイパス道路の整備
- 狭い区間の解消と通学路の安全確保

現況



「地域の声」との関連

- 地域の発展を支え、有事でも信頼できる幹線道路ネットワークの構築
- 誰もが安全で安心して利用できる道づくり

⑬ 桜川西中在寺線 (桜川西)

- 通学路の安全確保のため、踏切前後の歩道を整備

現況



「地域の声」との関連

- 誰もが安全で安心して利用できる道づくり

⑭ 日野徳原線 (内池バイパス)

- 周辺地域から、蒲生スマートICへアクセスするためのバイパス道路の整備
- 狭い区間の解消と通学路の安全確保

現況



「地域の声」との関連

- 地域の発展を支え、有事でも信頼できる幹線道路ネットワークの構築
- 誰もが安全で安心して利用できる道づくり

⑤ 大津能登川長浜線(安土・能登川)

●狭く、勾配がきつい主要幹線道路のバイパスの整備

現在の進捗状況



現在の進捗状況



「地域の声」との関連

- 地域の発展を支え、有事でも信頼できる幹線道路ネットワークの構築
- 誰もが安全で安心して利用できる道づくり
- 交通渋滞の緩和を図る道路の整備
- 時代の変化をとらえた道路の整備

③ 国道421号(佐目)

●大型車のすれ違いが困難な主要幹線道路の拡幅を推進

現在の進捗状況



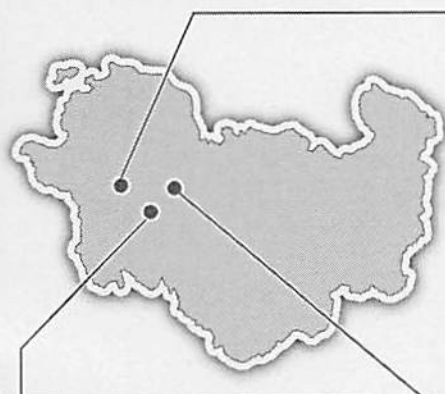
現在の進捗状況



「地域の声」との関連

- 地域の発展を支え、有事でも信頼できる幹線道路ネットワークの構築
- 誰もが安全で安心して利用できる道づくり
- 時代の変化をとらえた道路の整備

アクションプログラム 2013 完了箇所 代表事例



❖近江八幡竜王線(六枚橋)

●交差点を拡げて右折レーンを追加。渋滞が緩和

整備前の状況



整備後の状況



❖土山蒲生近江八幡線(蒲生SIC)

●高速道路に新しいインターを追加。地域の利便性が向上

整備前の状況



整備後の状況



❖国道421号(四ツ辻)

●いびつで危険な交差点を安全な形に改善

整備前の状況



整備後の状況



地域の声

東近江地域は、県内でも平地部の拡がりが大きく、古くから主要な道路が四方から集まる交通の要衝です。一方、近年の「蒲生スマートインターチェンジ」の開通や大規模観光施設の開業など、道路の役割やニーズは日々刻々と変化しています。

道路の整備は時代に応じて進められてきましたが、車の増加や大型化への対応、自転車や歩行者の安全性向上、災害への備えなど、様々な面で課題もあります。

今回、アクションプログラムの見直しにあたり、平成29年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催し、地域の課題等について、様々な立場の委員から意見を頂きました。これらを次の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

1. 地域の発展を支え、有事でも信頼できる幹線道路ネットワークの構築

地域の産業・観光等の発展のため、大型車や観光客でもスムーズに通れ、信頼性も高い幹線道路ネットワークの構築が必要です。特に東西に広い地域であるため、南北軸だけでなく東西軸の強化も重要です。

また、災害時に人や物資を運ぶメインルートの強化や、積雪や事故の時でも迂回ができる道路の確保など、備えにつながる道路整備も必要です。

2. 誰もが安全で安心して利用できる道づくり

言語・年齢・障がい等に関わらず、誰もが安全で安心して利用できる道づくりが必要です。

そのためには、通学路などを対象にした歩道の整備、バイパス道路の整備による生活道路との住み分け、ガードレールなど安全施設の充実、路面標示をはじめとしたドライバーへのサインの工夫など、様々な方法で取り組んでいくことが重要です。

3. 交通渋滞の緩和を図る道路の整備

従来からの渋滞箇所に加え、企業立地や観光客の増加により新たな渋滞も発生しており、これらを少しでも緩和していく必要があります。

そのためには、交差点の改良、道路の拡幅、道路ネットワークの強化による車の分散など、渋滞緩和につながる道路の整備に取り組んでいくことが重要です。

4. 時代の変化をとらえた道路の整備

安全への工夫など従来のノウハウは活かしながら、ナビゲーションシステムや自動運転をはじめとするICT技術などに対応した道路整備も進めていくことが求められます。

道路整備アクションプログラム2018【湖東土木事務所】

道路事業：改築事業

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		※事業化 検討路線
				前期 2018～2022 着手	完了	
①	国道307号	多賀				●
②	国道307号	松尾寺	●			
③	多賀醒井線	久徳・河内	●			
④	愛知川彦根線	稲枝・彦富	●	●		
⑤	神郷彦根線	川原	●			
⑥	湖東彦根線	愛知川	●			
⑦	豊郷停車場線	八目	●			
⑧	水谷彦根線	水谷・仏生寺	●	●		
⑨	安食西八目線	安食西	●			
⑩	湖東三山SICアクセス道路	目加田	●			

道路事業：交通安全事業（歩道整備）

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		※事業化 検討路線
				前期 2018～2022 着手	完了	
①	国道306号	多賀		●		
②	国道307号	斧磨	●			
③	彦根八日市甲西線	安孫子		●		
④	稲枝沢線	肥田				●
⑤	神郷彦根線	西今	●			
⑥	神郷彦根線	平田				●
⑦	北落豊郷線	上枝				●
⑧	松尾寺豊郷線	沢	●			
⑨	彦根環状線	大藪		●		
⑩	甲良多賀線	在士				●

道路事業：交通安全事業（交差点改良）

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		※事業化 検討路線
				前期 2018～2022 着手	完了	
①	大津能登川長浜線	松原				●
②	彦根八日市甲西線	在士	●			
③	敏満寺野口線	野口・出町	●	●		

街路事業

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018～2027		※事業化 検討路線
				前期 2018～2022 着手	完了	
①	(都)原松原線 (彦根環状線)	原・古沢	●			
②	(都)原長曾根線 (彦根近江八幡線)	安清跨線橋				●
③	(都)長曾根銀座線 (大津能登川長浜線)	城町・本町				●

参考掲載

国事業

— 00 —

整理番号	路線名	工区名
①	国道8号	米原バイパス
②	国道8号	高宮地区歩道整備事業
③	国道8号	築瀬・長野地区交差点改良

市町事業

— 00 —

整理番号	市町名	路線名	工区名	継続	2018～2027		※事業化 検討路線
					前期 2018～2022 着手	完了	
①		古沢安清線 (都)古沢安清線	第2工区	●	●		
②		稲部本庄線	稲部・彦富	●		●	
③	彦根市	芹橋彦富線	稲部・彦富	●		●	
④		佐和立花線 (都)立花船町線	立花・佐和	●		●	
⑤		大藪磯線	大藪	●		●	
⑥		松原町大黒前鴨ノ巣線 (都)松原町大黒前鴨ノ巣線	松原			●	
⑦		町道名神国八線	安孫子	●		●	
⑧	愛荘町	(仮)市香之庄線	香之庄		●		
⑨		(仮)深草八町線	深草	●			
⑩		町道愛知川栗田線	愛知川	●			
⑪	甲良町	池寺下之郷線	池寺・下之郷		●		

※ 事業化検討路線：予算の確保状況、他事業の進捗状況および地元との協議調整状況等により事業化を検討していく路線

湖東土木事務所 道路整備アクションプログラム箇所図

アクションプログラム2018		アクションプログラム2019	
道路事業	改築事業	10 (箇所)	13 (箇所)
	交通安全事業	10 (箇所)	10 (箇所)
	交通安全事業	3 (箇所)	1 (箇所)
街路事業		3 (箇所)	3 (箇所)
箇所数: 26 (箇所)		27 (箇所)	

凡例	
道路事業	高速・有料道路
改築事業	国 道
交通安全事業	主要地方道・一般県道
歩道整備	J R 在 来 線
交差点改良	J R 新 幹 線
街路事業	その他の私鉄線
国事業	市 町 界
市町事業	市 役 所
	市 町 役 場
	インターチェンジ

④ 愛知川彦根線 (稲枝・彦富)

●彦根市稲枝町～彦富町間の未改良区間の整備および踏切除却整備イメージ



「地域の声」との関連

- 交通渋滞を緩和し、道路交通の円滑化を図る道路整備の推進
- 安心して移動できる歩道等の整備
- 異常気象や災害に強い道路ネットワークの構築

⑤ 神郷彦根線 (川原)

●愛知川渡川橋梁の整備による周辺の渋滞緩和整備イメージ

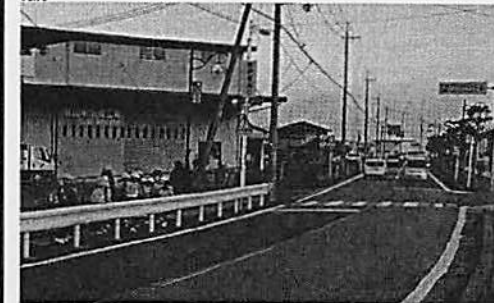


「地域の声」との関連

- 交通渋滞を緩和し、道路交通の円滑化を図る道路整備の推進
- 安心して移動できる歩道等の整備
- 異常気象や災害に強い道路ネットワークの構築

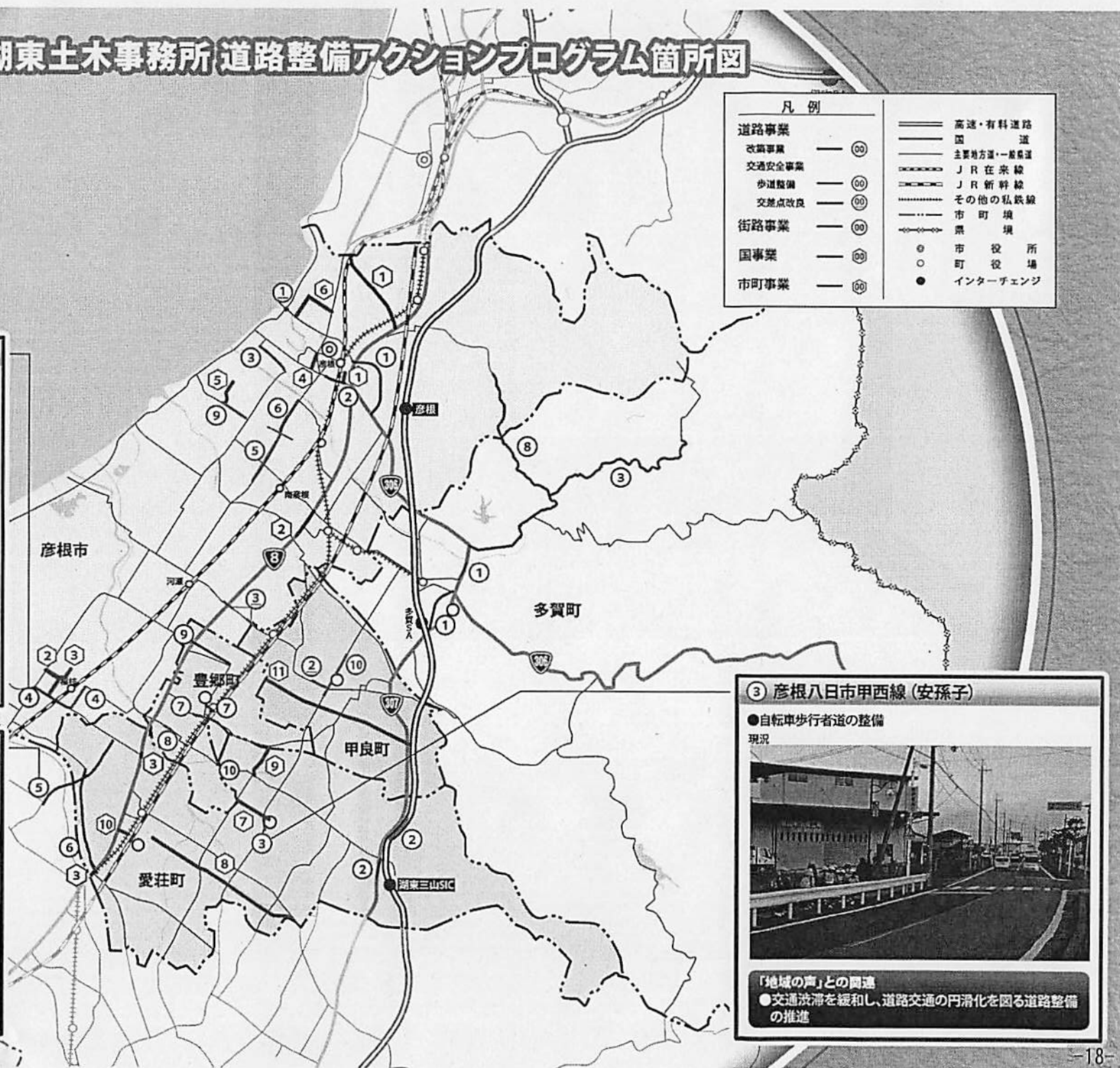
③ 彦根八日市甲西線 (安孫子)

●自転車歩行者道の整備
現況



「地域の声」との関連

- 交通渋滞を緩和し、道路交通の円滑化を図る道路整備の推進



① (都)原松原線(原・古沢)

●国道306号のバイパス整備

現況



整備イメージ



「地域の声」との関連

- 交通渋滞を緩和し、道路交通の円滑化を図る道路整備の推進
- 安心して移動できる歩道等の整備
- 異常気象や災害に強い道路ネットワークの構築

② 彦根八日市甲西線(在土)

- 中学生の通学経路である甲良町役場前の交差点改良と歩道の整備

現況



「地域の声」との関連

- 交通渋滞を緩和し、道路交通の円滑化を図る道路整備の推進
- 安心して移動できる歩道等の整備

アクションプログラム 2013 完了箇所 代表事例



❖大津能登川長浜線(甘呂)

- 狭いクランク区間の解消を図るバイパス整備

整備前の状況



整備後の状況



❖神郷彦根線(南川瀬)

- JR河瀬駅から彦根工業高校前の道路整備

整備後の状況

整備前の状況



❖湖東三山インター線(松尾寺)

- 名神高速道路湖東三山PAに接続するスマートICへの道路整備

整備後の状況



地域の声

湖東地域(彦根市、甲良町、多賀町、豊郷町、愛荘町)は、名神高速道路、国道8号、新幹線、JR琵琶湖線の国土軸と国道306号、国道307号などの主要幹線が通過する交通の要衝です。こうした地域性から、多賀大社や彦根城などの長い歴史に育まれた文化資源が多く点在するなど、県内でも有数の観光エリアとなっています。

また、平成25年には「湖東三山スマートインターチェンジ」が開通するなど、地域を取り巻く環境も変化しています。さらに、平成36年(2024年)に開催される第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会の主会場として、彦根市内の県立彦根総合運動場が選ばれるなど、今後の湖東地域の活性化も期待されています。

一方で、国道8号等の交通集中による渋滞は依然として厳しいものがあり、渋滞の緩和は解決すべき最大の課題となっています。こうした渋滞を避ける自動車が生活道路や通学路へ流入し、通学児童をはじめとする交通弱者の安全が脅かされており、安心できる空間の確保が求められています。さらに、山間部では大雨によって通行止めとなる道路が存在することや、平成29年1月には33年ぶりの大雪となり日常生活に大きな混乱が生じたことから、異常気象時にも信頼性の高い道路が求められています。

アクションプログラムの見直しにあたり、平成29年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の4項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

1. 交通渋滞を緩和し、道路交通の円滑化を図る道路整備の推進

当地域で慢性化している交通渋滞は時間的、経済的損失だけではなく、生活道路への車両の進入を招き、子どもや高齢者などに対し危険な状況が続いています。

交通渋滞を緩和するためには、各道路管理者(国、県、市町)の連携のもと、交差点改良や現道拡幅、バイパス整備などを事業進捗が見えるかたちで着実に進めていくことが必要です。

また、道路交通の円滑化を図るために、インターチェンジへのアクセス道路や湖東地域から他地域へ連絡する道路などのネットワーク機能の強化も求められます。

2. 安心して移動できる歩道等の整備

通学路等の安全確保を積極的に進め、子どもや高齢者、障がい者、当地域に訪れる観光客など、誰もが安心して移動できる歩道等の整備が必要です。

3. 異常気象や災害に強い道路ネットワークの構築

集中豪雨、冬期の積雪、地震などが発生した場合でも、地域が分断、孤立することがないように、各道路管理者が連携した災害に強い道路ネットワークの構築が求められます。また、既存の道路機能を確保できるように計画的かつ戦略的な施設の長寿命化や維持管理が求められます。

4. 地域の魅力や活力を高めるための道づくり

歴史・文化資源が豊富な湖東地域の魅力を活かし、地域の活力を高めていくために、県や湖畔の市町が活発に推進している「ビワイチ」の普及促進に向け、自転車の通行のための環境整備を積極的に進めるとともに、琵琶湖周辺だけでなく湖東地域全体に発展させていくための計画的な取り組みが求められます。

道路整備アクションプログラム2018【長浜土木事務所】

道路事業:改築事業

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		検討路線 ※事業化
				前期 2018~2022 着手完了	検討路線 ※事業化	
①	山東一色(山東本巣)線	野一色	●			
②	木之本長浜線	森・祇園	●		(●)	
③	大野木志賀谷長浜線	長岡バイパス	●			
④	大野木志賀谷長浜線	本庄	●			
⑤	大野木志賀谷長浜線	鳥羽上・下坂中				●
⑥	大鹿寺倉線	山室	●	●		
⑦	南浜山本高月線	南浜	●			
⑧	伊部近江線	西野				●
⑨	山東伊吹線	大野木				●

道路事業:交通安全事業(歩道整備)

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		検討路線 ※事業化
				前期 2018~2022 着手完了	検討路線 ※事業化	
①	国道365号	大野木・藤川				●
②	木之本長浜線	尾上・津里	●			
③	朝妻筑摩近江線	天野川橋				●
④	丁野虎姫長浜線	北新町	●			
⑤	間田長浜線	本市場	●			
⑥	長浜近江線	田村町・碓	●			
⑦	長浜近江線	八幡中山				●

街路事業

— 00 —

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		検討路線 ※事業化
				前期 2018~2022 着手完了	検討路線 ※事業化	
①	(都)長浜駅宮司七条線 (間田長浜線)	八幡東町				●
②	(都)大成玄山階線 (伊部近江線)	宮司・山階				●

参考掲載

国事業

— 00 —

整理番号	路線名	工区名
①	国道8号	米原バイパス
②	国道8号	米原貨物ターミナル
③	国道21号	西円寺地区交差点改良

市事業

— 00 —

整理番号	市町名	路線名	工区名	継続	2018~2027		検討路線 ※事業化
					前期 2018~2022 着手完了	検討路線 ※事業化	
①	長浜市	市道南田附神前線	3工区	●			
②		市道北船列見線 (都)北船列見線	南呉服				●
③		(都)大成玄山階線	宮司・大辰巳		●		
④		(都)地福寺神照線	八幡東	●			
⑤		市道石田宮司線	石田・七条		●		
⑥		市道大寺三川線	大寺	●		●	
⑦		市道曾根通学線	川道	●		●	
⑧		市道速水6号線	速水	●		●	
⑨		市道相模東西6号線・7号線	相模				●
⑩	米原市	杉澤弥高線	杉澤	●		●	
⑪		板戸市場線	朝日・烏脇	●			●
⑫		磯六川入江線	入江				●
⑬		(仮)顔戸長沢線	顔戸・高溝	●			●

※事業化検討路線: 予算の確保状況、他事業の進捗状況および地元との協議調整状況等により事業化を検討していく路線
(●)は部分完成または暫定完成

アクションプログラム2018

道路事業	改築事業	9 (箇所)	12 (箇所)
交通安全事業	歩道整備	7 (箇所)	7 (箇所)
	交差点改良	1 (箇所)	3 (箇所)
街路事業		2 (箇所)	2 (箇所)
箇所数: 18 (箇所)			24 (箇所)

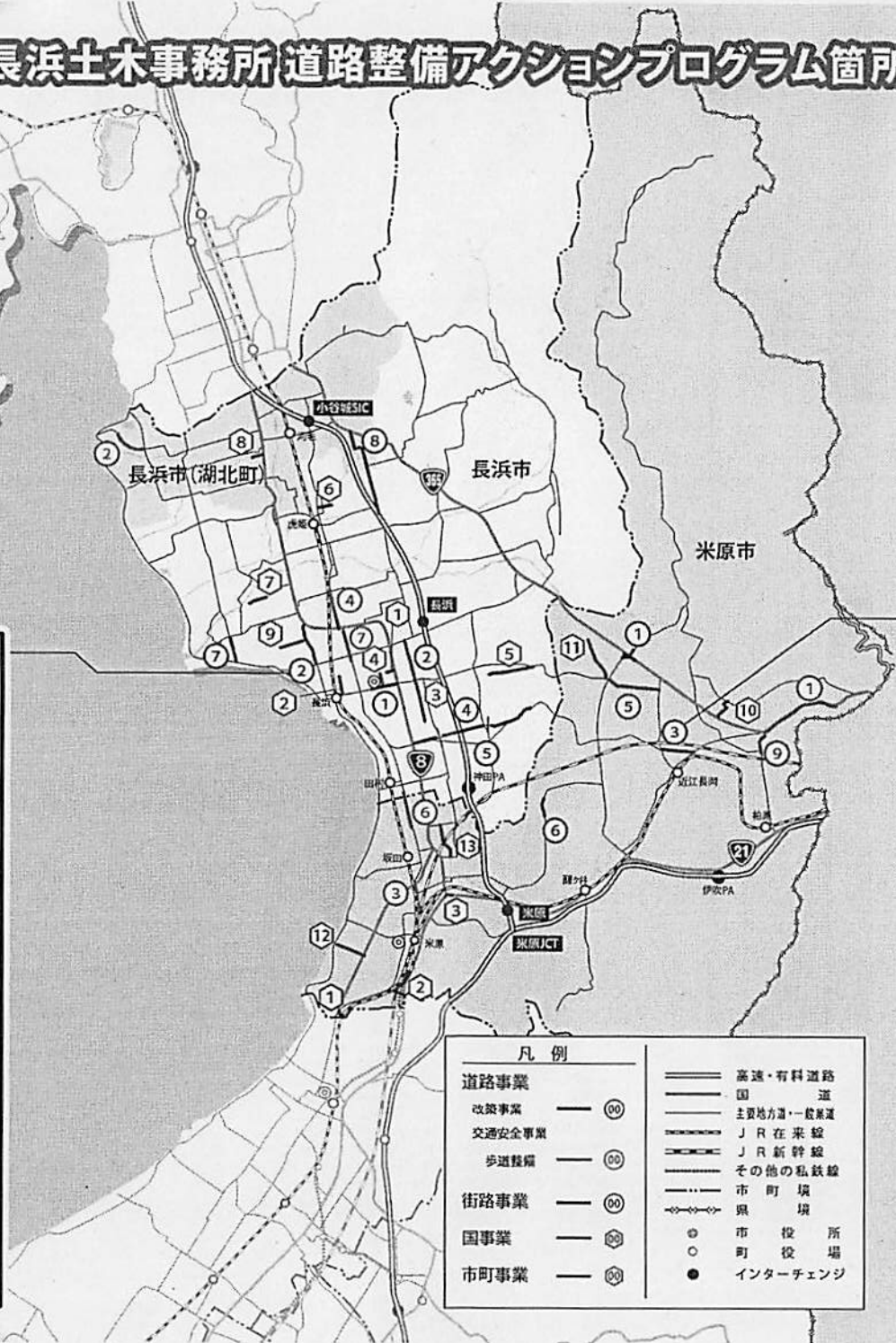
長浜土木事務所 道路整備アクションプログラム箇所図

② 木之本長浜線 (森・祇園)

- 幅員が狭い区間および国道8号交差点の渋滞解消のための道路整備
- 通学路であり、自転車・歩行者の安全確保



- 「地域の声」との関連
- 主要な幹線道路に繋がる道路の整備
 - 安心・安全を一番に
 - 地域の活力に繋がるネットワークの整備



凡 例	
道路事業	高速・有料道路
改築事業	国 道
交通安全事業	主要地方道・一般県道
歩道整備	J R 在 来 線
	J R 新 幹 線
	その他の私鉄線
街路事業	市 町 境
国事業	県 境
市町事業	市 役 所
	町 役 場
	インターチェンジ

③ 大野木志賀谷長浜線 (長岡バイパス)

- 狭い区間の解消 (バイパス計画)
 - 自転車・歩行者の安全確保
- 現道とバイパス計画の状況



- 「地域の声」との関連
- 主要な幹線道路に繋がる道路の整備
 - 安心・安全を一番に
 - 地域の活力に繋がるネットワークの整備

④ 丁野虎姫長浜線 (北新町)

- 通学路における歩道未整備区間の解消

現況



「地域の声」との関連

- 主要な幹線道路に繋がる道路の整備
- 安心・安全を一番に

⑤ 間田長浜線 (本市場)

- 通学路における歩道未整備区間の解消

現況



現況



「地域の声」との関連

- 主要な幹線道路に繋がる道路の整備
- 安心・安全を一番に
- 地域の活力に繋がるネットワークの整備

アクションプログラム 2013 完了箇所 代表事例

❖ 間田長浜線 (観音坂)

- 新たなトンネルを整備し、自転車・歩行者と自動車交通の分離による安全確保
- 縦断勾配の緩和により、自転車通学の高校生の負担が軽減

整備後の状況



❖ 丁野虎姫長浜線 (小谷城SIC)

- 北陸自動車道小谷城スマートICの整備

整備後の状況



❖ 国道365号 (坂口・野一色)

- 自転車・歩行者の安全確保のため、歩道整備を実施

整備後の状況



地域の声

長浜・米原地域(旧伊香郡を除く)は、北陸自動車道、名神高速道路、国道8号、国道21号、国道365号等が走る京阪神・中京・北陸方面を結ぶ交通の要衝です。また、歴史文化や豊かな自然を活かした魅力的な観光地が多数あり、今後、県内外からより多くの方に長浜・米原地域へ訪れて頂くため、観光地へのアクセスを改善する道路整備が期待されています。

近年では、北陸自動車道に「小谷城スマートインターチェンジ」が開通して高速道路がさらに利用しやすくなり、観音坂トンネルの開通で本地域の東西方向の移動も便利になるなど、道路を取り巻く環境も大きく変化してきています。

しかしながら、少子高齢化が進む中、高齢者や車いすの方がスムーズに移動できない未整備の道路も依然残っており、病院、福祉施設、文化ホール等へ誰もが安全に移動できるような道路整備が求められています。また、歩道が無い通学路等を改良し、子供達の安全を守ることも課題となっています。

アクションプログラムの見直しにあたり、平成29年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の4項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

1. 主要な幹線道路に繋がる道路の整備

長浜・米原地域の誰もがスムーズに移動できる道路とするため、主要な幹線道路や駅周辺に加えて、地域全体をカバーした道路整備が必要です。

2. 安全・安心を一番に

日常の安全・安心を一番に考え、高齢者や車いすの方をはじめ、誰もが利用しやすい道路とすることが求められます。また、小学生・中学生・高校生の利用する通学路等に対して、歩道や交通安全施設を整備することも必要です。なお、整備にあたっては交通事故の事例を踏まえた交通安全対策が求められます。

3. 災害に強い道路整備の推進

災害の発生時においても大型車が通行できる幅が広い道路や橋梁の整備をはじめ、通行止めによって孤立する集落がなくなるような災害に強い道路の整備が求められます。

4. 地域の活力に繋がるネットワークの整備

長浜・米原地域の豊富な観光地(豊公園、伊吹山等)の魅力をさらに高めていくための道路整備や、琵琶湖一周(ビワイチ)を安全で快適に楽しめる環境を整えるとともに、ビワイチのルートと長浜・米原地域の観光地を結ぶ道路整備も求められます。

道路整備アクションプログラム2018【長浜土木事務所 木之本支所】

道路事業:改築事業

00

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		
				前期 2018~2022		検討 事業 路線 緑化
				着手	完了	
①	国道303号	音羽	●			
②	国道303号	杉野・杉本		●		
③	国道365号	中河内				●
④	西浅井余呉線	西浅井・余呉				●
⑤	川合千田線	川合・古橋	●		●	
⑥	川合千田線	尾山・洞戸	●		●	
⑦	杉本余呉線	杉本・上丹生		●		
⑧	中河内木之本線	中河内・小原	●			
⑨	中河内木之本線	大見	●		●	
⑩	木之本高月線	雨森・馬上	●			

道路事業:交通安全事業(歩道整備)

00

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		
				前期 2018~2022		検討 事業 路線 緑化
				着手	完了	
①	国道303号	金居原・杉野	●			
②	国道303号	岩熊		●		
③	井口高月線	渡岸寺・落川		●		
④	川合千田線	千田		●	●	
⑤	西柳野高月線	柳野	●		●	

参考掲載

国事業

00

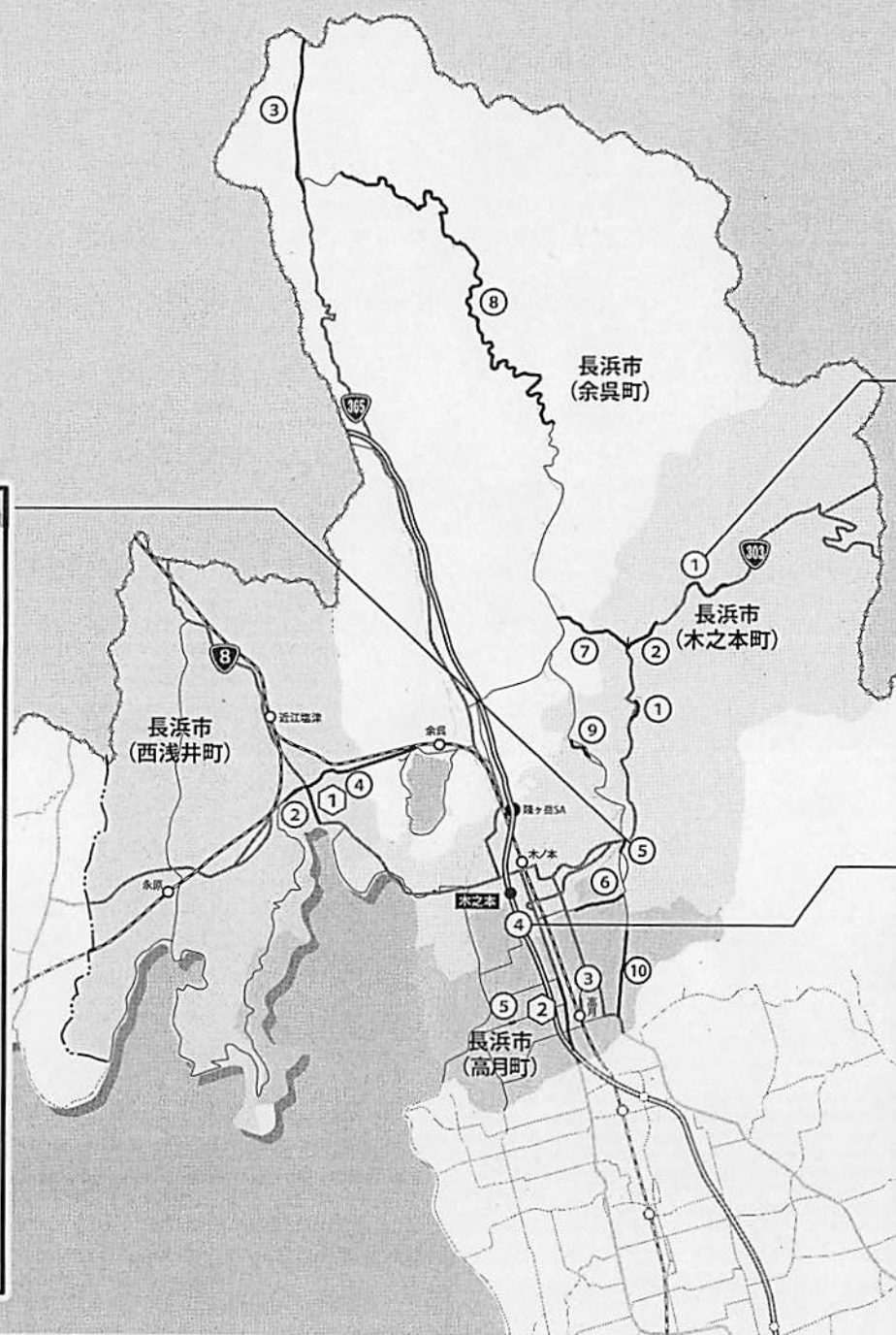
整理番号	路線名	工区名
①	国道8号	塩津バイパス
②	国道8号	高月自転車歩行者道設置事業

※ 事業化検討路線:予算の確保状況、他事業の進捗状況および地元との協議調整状況等により事業化を検討していく路線

アクションプログラム2018		アクションプログラム2013	
道路事業	改築事業	10 (箇所)	10 (箇所)
	交通安全事業	5 (箇所)	5 (箇所)
	交差点改良	— (箇所)	— (箇所)
街路事業		— (箇所)	— (箇所)
箇所数: 15 (箇所)		15 (箇所)	

木之本支所 道路整備アクションプログラム箇所図

凡 例	
道路事業	
改築事業	①②
交通安全事業	③④
歩道整備	⑤⑥
国事業	⑦⑧
国	道
主要地方道	一般国道
J R 在 来 線	
市 町 境 界	
県 境	
市 役 所	



⑤ 川合千田線 (川合・古橋)

- 狭い区間の解消と落石対策のための道路整備を実施
現況



現在の進捗状況



(H29.12撮影)

「地域の声」との関連

- 災害や雪に強い道路ネットワークの構築
- 誰もが安心・安全に暮らせる道路整備道づくり

① 国道303号 (金居原・杉野)

- 通学路の安全確保を図るため、道路拡幅と歩道整備を実施
現況



「地域の声」との関連

- 誰もが安心・安全に暮らせる道路整備

④ 川合千田線 (千田)

- 通学路の安全確保のため、踏切前後の歩道整備を実施
現況



「地域の声」との関連

- 誰もが安心・安全に暮らせる道路整備

⑦ 杉本余呉線 (杉本・上丹生)

- 幹線道路を繋ぎ、地域を横断する東西道路ネットワークの整備
- 災害時等に国道303号、国道365号の迂回路として機能するなど、防災性向上に期待

現況



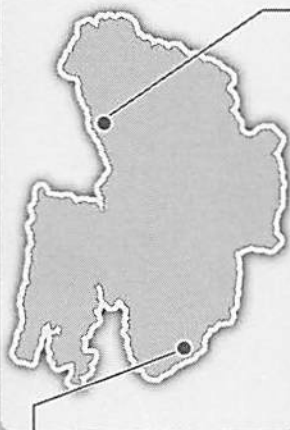
現況



「地域の声」
との関連

- 災害や雪に強い道路ネットワークの構築

アクションプログラム 2013 完了箇所 代表事例



❖ 国道365号 (椿坂トンネル)

- 狭い道路が全線2車線となり、冬期の通行障害も無くなり、大型車両等の安全な通行が確保された
- 通行時間の短縮が実現

旧道の状況



バイパスの整備後の状況



❖ 落川高月線 (落川)

- JR高月駅付近の狭く歩道がない通学路の歩道整備

整備前の状況



整備後の状況



地域の声

木之本地域(高月町、木之本町、余呉町、西浅井町の4町からなる旧伊香郡)は、北陸自動車道、国道8号、国道303号、国道365号が走る近畿、北陸、中部を結ぶ交通の要衝です。

そして、当地域は、多発する豪雨・豪雪等の身近な自然災害に対応した地域の繋がりととしての道路ネットワークの整備が必要であり、南北軸と併せて未整備区間が多い東西軸の早急な道路整備が求められています。特に、木之本地域の多くは山間部で道路幅員の狭隘な区間が多く、救急車など緊急車両の通行不能区間やすれ違いができない区間が残されているほか、平成29年8月の台風5号では、道路への土砂流出等による交通阻害が発生し、地域の分断や孤立の解消が喫緊の課題となっています。

また、東日本大震災での原発事故は、今も周辺に住む地域の方々に甚大な影響を及ぼしていますが、当地域においても近傍の原子力発電所に対して、地域住民が安心・安全に暮らせる防災面を踏まえた道路整備が必要です。

さらに、歩道整備等の通学路の安全対策や老朽化した橋・トンネルの長寿命化対策など道路施設の適切な維持管理が求められています。

アクションプログラムの見直しにあたり、平成29年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂きました。これらを以下の4項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

1. 災害や雪に強い道路ネットワークの構築

木之本地域は、山間部を多く擁することや、関西圏唯一の特別豪雪地帯を有すること、また原子力災害における緊急時防護措置準備区域(UPZ)に含まれます。地域住民の生命財産を守り、近年頻発する豪雨・豪雪や地震に伴う道路の寸断、それによる地域の孤立・分断を回避し、救急車など緊急車両の通行不能区間の解消を行うとともに、冬期も大型車の通行が可能となる南北軸と併せた東西軸の道路ネットワークの構築が必要です。

2. 誰もが安心・安全に暮らせる道路整備

小学校周辺の通学路において、未だ歩道が未整備な箇所があり、子供や高齢者などの交通弱者が安心・安全に通行できる道路整備は今後も継続していく必要があります。また、防災経点検要対策箇所の整備を推進することで、法面からの落石等による生活道路の通行危険箇所を解消し、また、緊急輸送道路区間内の対策を行うことにより、信頼性・防災性を向上させる必要があります。

3. 既存道路施設の適切な維持管理

橋梁やトンネルなどの重要構造物については、定期点検が義務化されるなど、より一層の適切な維持管理が求められています。特に木之本地域の県管理道路では、県内で最多の16箇所のトンネルを管理するなど、日常の維持管理と併せた老朽化に対する効率的・効果的な取り組みが必要です。

4. 地域の魅力を高めるための取り組み

優れた歴史・文化資産を多く擁する木之本地域の魅力を高めるためには、滋賀県などが推進する「ビワイチ」を活かし、観光資源を取り込んだ自転車通行空間の整備を進めるとともに、丹生ダム建設事業中止に伴う地域整備に資する道路整備等の取り組みが必要です。

道路整備アクションプログラム2018【高島土木事務所】

道路事業:改築事業

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		
				前期 2018~2022		※事業化 検討路線
				着手	完了	
①	国道303号	追分	●			
②	国道303号	蘭生・北生見				●
③	国道367号	桑野橋		●		
④	国道367号	保坂		●		
⑤	小浜朽木高島線	野尻				●
⑥	小浜朽木高島線	中野	●			
⑦	小浜朽木高島線	庄堺・三重生		●		
⑧	小荒路牧野沢線	沢	●			
⑨	五番領安井川線	安曇川	●		●	
⑩	麻生古屋梅ノ木線	朽木	●			

道路事業:交通安全事業(歩道整備)

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		
				前期 2018~2022		※事業化 検討路線
				着手	完了	
①	国道303号	弘川・蘭生	●			
②	国道367号	市場		●		
③	小荒路牧野沢線	白谷				●
④	畑勝野線	拝戸				●

参考掲載

国事業

整理番号	路線名	工区名
①	国道161号	湖北バイパス
②	国道161号	小松拡幅
③	国道161号	安曇川地区交差点立体化事業

アクションプログラム2018		アクションプログラム2013
道路事業		
改築事業	10 (箇所)	12 (箇所)
交通安全事業		
歩道整備	4 (箇所)	4 (箇所)
交差点改良	— (箇所)	— (箇所)
街路事業	— (箇所)	— (箇所)
箇所数: 14(箇所)		16 (箇所)

高島土木事務所 道路整備アクションプログラム箇所図

凡 例	
道路事業	
改築事業	⑩
交通安全事業	④
歩道整備	④
国事業	⑤
国	—
主要地方道・一般県道	—
JR在来線	—
市界	—
町界	—
村界	—
市役所	○

④ 国道367号(保坂)

- 狭く急カーブが続く現道の拡幅と線形改良を実施
- 緊急輸送道路の整備により、広域道路ネットワークの充実と併せ、防災性も向上

現況



現況



「地域の声」との関連

- 地域の魅力や活力を高めるための道づくり
- 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築
- 適正な管理による安心・安全で魅力的な歩行空間の確保
- 住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

⑨ 五番領安井川線(安曇川)

- JR安曇川駅へのアクセス道路
- 幅員狭小で老朽化した橋梁の架け替えの実施

現況



現在の進捗状況



「地域の声」との関連

- 地域の魅力や活力を高めるための道づくり
- 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築
- 適正な管理による安心・安全で魅力的な歩行空間の確保
- 住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

① 国道303号 (追分)

- 狭く急カーブが続く現道の拡幅と線形改良を実施
- 緊急輸送道路の整備により、広域道路ネットワークの充実と併せ、防災性も向上

現況



現況



「地域の声」との関連

- 地域の魅力や活力を高めるための道づくり
- 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築

① 国道303号 (弘川・蘭生)

- 歩道未整備区間の解消を図り、歩行者の安全を確保

現況



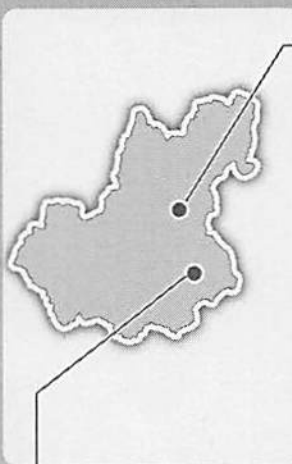
現在の進捗状況



「地域の声」との関連

- 地域の魅力や活力を高めるための道づくり
- 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築
- 適正な管理による安心・安全で魅力的な歩行空間の確保
- 住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

アクションプログラム 2013 完了箇所 代表事例



❖ 蘭生日置前線 (日置前)

- 国道303号のバイパス道路として大型車の通行が増加した路線である一方、生活道路である通学路の歩道整備

整備前の状況



整備後の状況



❖ 小浜朽木高島線 (南古賀)

- 緊急輸送道路の整備により、広域道路ネットワークの充実と併せ、防災性も向上

旧道の状況



バイパスの整備状況



地域の声

高島地域は、北は北陸、福井嶺南地域、南は天津地域と結ばれる交通の要衝です。

また、白鬚神社やメタセコイア並木道などの文化・自然資源も多く点在し、観光エリアとして賑わいを見せています。

近年では、「舞鶴若狭自動車道」の全線開通(平成26年7月)や「国道161号青柳北交差点」の立体化(平成28年3月)が完了するなど、道路を取り巻く環境にも変化がみられています。

しかし、幹線道路の大半が山間部などの狭隘な区間を通過するなど、災害時に代替路線として機能する道路網が確保できていない状態です。そのため、災害時の通行規制により孤立する集落が存在するなど、復旧・支援・避難ルートの確保が大きな課題の一つとなっています。

また、人口減少と高齢化が急速に進んでいる本地域においては、道路整備の推進により更なる観光・交流人口の拡大や若者の定住促進といった地域活性化の推進が必要です。さらに、高齢者や障害者、子ども、観光客に配慮した安心して移動できる歩行空間の確保、豪雪地帯であるという地域特性を踏まえた冬期の安全確保、適切で無駄のない計画的な道路の維持管理が必要です。

アクションプログラムの見直しにあたり、平成29年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の4項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

1. 地域の魅力や活力を高めるための道づくり

地域の交流人口の拡大を促し、観光振興の推進、経済活動の活性化、若者の定住等を促す道路整備の積極的な取り組みが重要です。さらに、限られた地域の路線に集中する交通の渋滞対策や生活交通と通過交通の分離、すれ違いができない区間の解消・急カーブの緩和対策、自転車の積極的な利用対策など、より住みよいまちづくりへとつながる道路整備の推進が必要です。

2. 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築

豪雪や地震等の大規模な災害は、市民の生活に大きな影響を及ぼすため、広域連携による復旧・支援・避難ルートの確保が急務となります。道路が寸断された場合の代替路を確保し、災害時の人・物資・情報の広域的かつ円滑な流れを構築する道路網の形成や災害に強い道路整備が重要です。

3. 適正な管理による安心・安全で魅力的な歩行空間の確保

適正な道路の維持管理を進めながら、誰もが安心して快適に移動できる歩行空間の確保が重要です。特に、高齢者や障害者、子ども、観光客の安全確保、冬期の積雪対策、適切な維持管理による観光地の魅力向上といった、地域の課題を踏まえた施策の推進が必要です。

4. 住民と行政との連携・協働による道づくり

今後の道づくりには住民の主体的な取り組みと、地域の意見を計画に反映させることが重要です。特に、道路の維持管理活動は、地域住民、行政(県・市)、警察などの交通関係機関等との連携・協働の強化が重要であり、地域の誰もが「我が道」として誇りと愛着を持てる様な道づくりの推進が必要です。

地域別アクションプログラム(高島土木事務所)地域ワーキング